

令和 3 年度

宇都宮市一般廃棄物処理実施計画

宇都宮市環境部

宇都宮市上下水道局

－ 目 次 －

はじめに

1	一般廃棄物処理実施計画について	1
(1)	計画の目的	1
(2)	計画期間	2
(3)	対象区域	2
第1章	ごみ処理実施計画	3
1	基本指標の目標値	3
2	排出量状況等	4
(1)	排出量	4
(2)	資源化量	5
(3)	最終処分量	6
3	施策事業の取組	6
(1)	《基本方針1》発生抑制・再使用の促進	7
(2)	《基本方針2》資源循環利用の促進	11
(3)	《基本方針3》適正な処理の推進	14
4	収集運搬・中間処理・最終処分体制	17
(1)	収集運搬体制	17
(2)	中間処理体制	21
(3)	最終処分体制	24
第2章	生活排水処理実施計画	25
1	基本指標の目標値	25
2	施策事業の取組	26
(1)	《基本方針1》生活排水処理施設整備の推進と効率的な運営管理	26
(2)	《基本方針2》し尿・浄化槽汚泥等の適正な処理	28
3	収集運搬・中間処理・最終処分体制	29
(1)	収集運搬体制	29
(2)	中間処理体制	30
(3)	最終処分体制	30

1 一般廃棄物処理実施計画について

(1) 計画の目的

この計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項及び廃棄物処理法施行規則第1条の3の規定に則り、年度ごとに策定するものである。

本市の一般廃棄物処理基本計画（令和3年3月策定）に基づいて、令和3年度におけるごみ減量及びリサイクル，処理処分等について，必要な事項を定める。

本計画に掲げた取組を着実に推進することで，SDGsの目標の達成に貢献し，持続可能なまちを目指す。

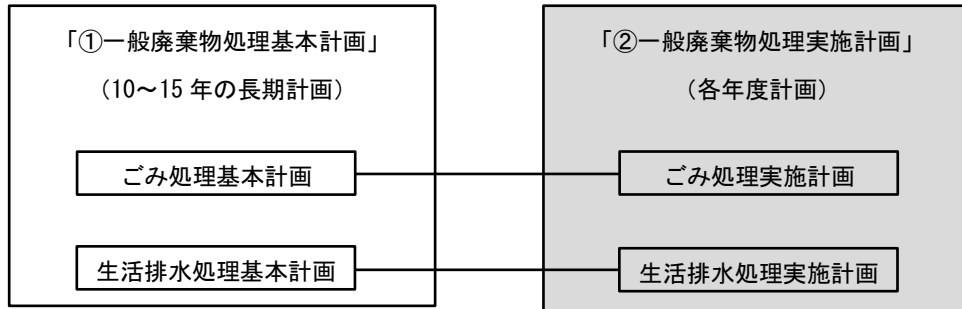
- 根拠法令 ○廃棄物処理法第6条第1項
○廃棄物処理法施行規則第1条の3

【一般廃棄物処理計画の構成】

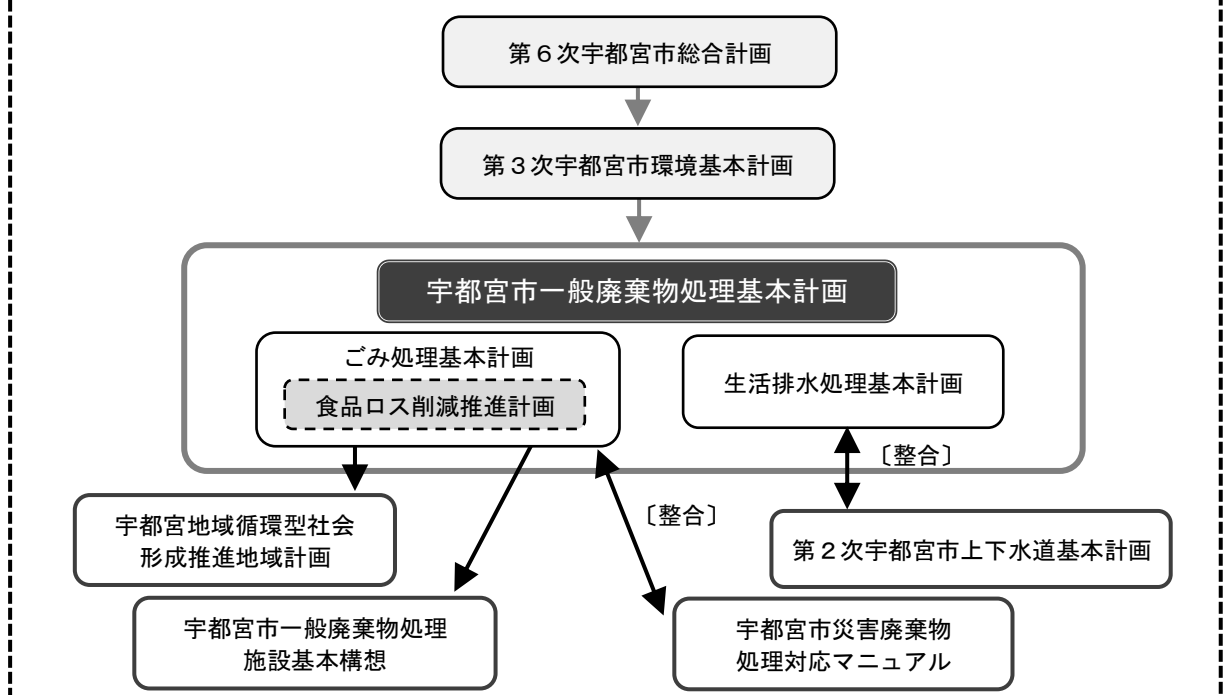
一般廃棄物処理計画は，

- ① 10～15年の長期的視点に立った基本方針となる計画（一般廃棄物処理基本計画）
- ② 基本計画に基づき年度ごとに定める計画（一般廃棄物処理実施計画）

から構成される



【参考】宇都宮市一般廃棄物処理基本計画の体系



【本計画と関係が深いSDGsの目標】

目標 6 安全な水とトイレを世界中に

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

目標 11 住み続けられるまちづくりを

目標 12 つくる責任 つかう責任

目標 13 気候変動に具体的な対策を

目標 14 海の豊かさを守ろう

目標 15 陸の豊かさも守ろう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



(2) 計画期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(3) 対象区域

宇都宮市全域

第1章 ごみ処理実施計画

1 基本指標の目標値

ごみ処理基本計画では、各施策事業の取組効果を客観的かつ定量的に点検・評価するため、基本指標とその目標値を下記のとおり設定している。

【基本指標1】 一人1日当たり家庭系ごみ排出量（資源物以外）

人口の変化の影響を受けず、家庭から出るごみについて、市民一人ひとりの3Rの取組効果を評価できる

【基本指標2】 事業系ごみ排出量（資源物以外）

事業者の規模に左右されず、事業者全体における3Rの取組効果を評価できる

【基本指標3】 最終処分量（埋立量）

ごみの減量効果と中間処理後の資源化の効果を図り、最終処分量の削減効果を評価できる

【基本指標1】 一人1日当たり家庭系ごみ排出量（資源物以外）（g/人・日）

	基準値 (R1)	計画値 (R3)	計画値 (R4)	計画値 (R5)	計画値 (R6)	短期目標 (R7)
一人1日当たり 家庭系ごみ排出量 (資源物以外)	559	550	547	545	542	540

【基本指標2】 事業系ごみ排出量（資源物以外）（t/年）

	基準値 (R1)	計画値 (R3)	計画値 (R4)	計画値 (R5)	計画値 (R6)	短期目標 (R7)
事業系ごみ排出量 (資源物以外)	43,425	42,600	42,300	41,900	41,400	41,100

【基本指標3】 最終処分量（埋立量）（t/年）

	基準値 (R1)	計画値 (R3)	計画値 (R4)	計画値 (R5)	計画値 (R6)	短期目標 (R7)
最終処分量	22,648	20,800	19,900	19,000	18,100	17,200

【参考】 市域における資源化状況確認項目

市域における資源化量※

現状値 (R1) : 29,911t/年

※行政回収量+集団回収量+市内一般廃棄物許可業者における資源化量

2 排出状況等

(1) 排出量

令和3年度における区分ごとのごみ排出量は、下表のとおりである。

ア ごみと資源物

区 分		2019 (R1) 年度 排出量 (実績) ※	2020 (R2) 年度 排出量 (見込)	2021 (R3) 年度 排出量 (計画値)	
家 庭 系	資 源 物 以 外	焼 却 ご み	101,691	107,063	99,532
		不 燃 ・ 危 険 ご み	3,046	3,663	3,032
		粗 大 ご み	1,441	3,361	1,434
		小 計	106,178	114,087	103,998
	資 源 物	ペ ッ ト ボ ト ル	1,943	2,050	1,809
		び ん 缶 類	6,023	5,992	5,607
		プ ラ ・ 白 色 ト レ イ	3,305	3,479	3,077
		紙 布 類	9,695	10,552	9,154
	小 計	20,966	22,073	19,772	
	家 庭 系 計	127,144	136,160	123,770	
事 業 系	資 源 物 以 外	焼 却 ご み	42,985	38,077	41,670
		不 燃 ・ 危 険 ご み	229	237	227
		粗 大 ご み	210	209	208
		小 計	43,425	38,523	42,104
	資 源 物	ペ ッ ト ボ ト ル	16	10	15
		び ん 缶 類	591	468	584
		プ ラ ・ 白 色 ト レ イ	8	7	8
		紙 布 類	215	238	238
	小 計	830	723	845	
	事 業 系 計	44,254	39,246	42,950	
家 庭 系 + 事 業 系	資 源 物 以 外	焼 却 ご み	144,676	145,140	141,202
		不 燃 ・ 危 険 ご み	3,275	3,900	3,259
		粗 大 ご み	1,651	3,570	1,642
		小 計	149,603	152,610	146,103
	資 源 物	ペ ッ ト ボ ト ル	1,959	2,060	1,824
		び ん 缶 類	6,614	6,460	6,191
		プ ラ ・ 白 色 ト レ イ	3,313	3,486	3,211
		紙 布 類	9,910	10,790	9,392
	小 計	21,796	22,796	20,618	
	家 庭 系 + 事 業 系 計	171,398	175,406	166,720	
集 団 回 収	7,254	6,018	6,888		
廃 食 用 油	36	39	36		
イ ン ク カ ー ト リ ッ ジ	1	1	1		
使 用 済 小 型 家 電	55	70	55		
剪 定 枝	389	830	389		
総 排 出 量	179,133	182,364	174,089		

※令和元年度実績値は台風第19号による災害廃棄物量を除いた量

イ その他の一般廃棄物

区 分	2019 (R1) 年度 排出量 (実績)	2020 (R2) 年度 排出量 (見込)	2021 (R3) 年度 排出量 (見込)
胞 衣 汚 物	1850.6kg	1,378kg	2,030kg
動 物 の 死 体	3,786 体	3,924 体	3,855 体

(2) 資源化量

区分ごとの資源化量は、下記のとおりとする。

(単位：t/年)

区 分	2019 (R1) 年度 排出量 (実績)	2020 (R2) 年度 排出量 (見込)	2021 (R3) 年度 排出量 (計画値)
リサイクルプラザ	5,945	5,330	5,701
ペットボトル	1,263	1,265	1,181
金属類 (破碎・プレス)	3,582	3,126	3,487
ガラス類 (カレット) 等	1,101	939	1,033
エコプラセンター下荒針	2,828	2,838	2,741
プラスチック製容器包装	2,824	2,834	2,736
白色トレイ	4	4	4
(株)エスケシー	9,839	10,739	9,325
紙布類	9,839	10,739	9,325
焼却処理後	547	699	1,842
焼鉄	148	231	147
熔融メタル	89	122	109
エコスラグ	310	346	1,586
集 団 回 収	7,254	6,018	6,888
廃 食 用 油	36	39	36
インクカートリッジ	1	1	1
小型家電製品	55	70	55
剪定枝	389	830	389
合 計	26,941	26,682	27,023

(3) 最終処分量

区分ごとの最終処分量は、下記のとおりとする。

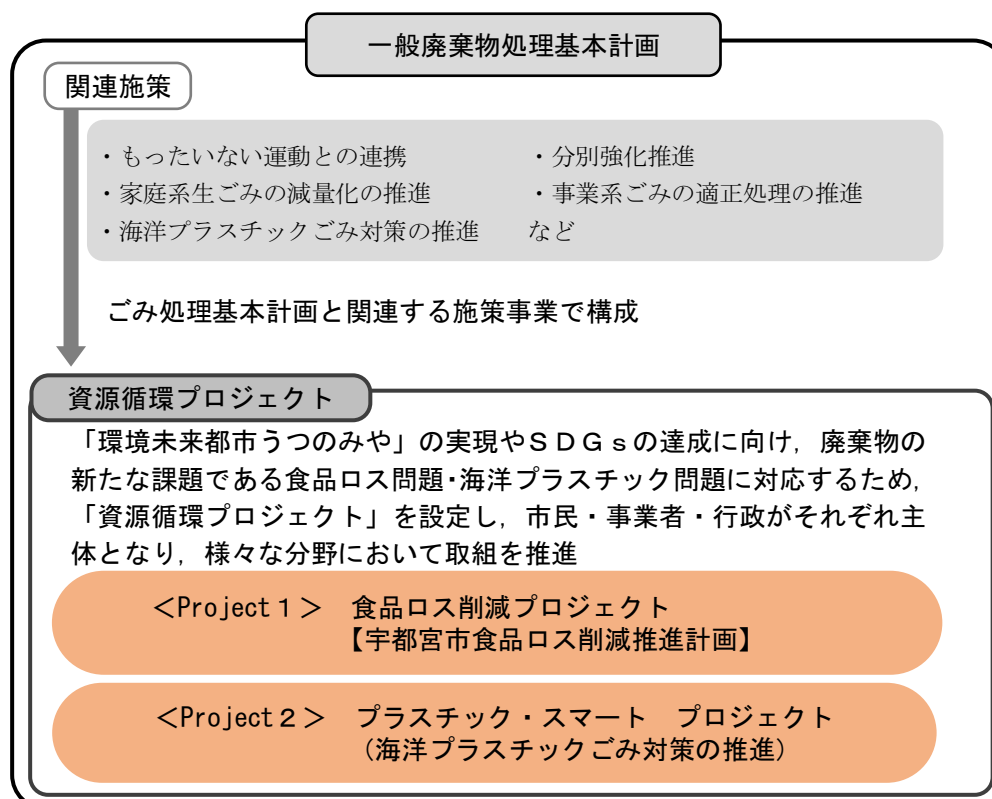
(単位：t/年)

区分		2019 (R1) 年度 排出量 (実績)	2020 (R2) 年度 排出量 (見込)	2021 (R3) 年度 排出量 (計画値)
排出量		179,133	182,364	174,089
最終処分量	不燃残渣	5,571	5,555	4,902
	焼却灰	11,968	8,560	10,400
	ばいじん	4,610	4,672	4,491
	熔融スラグ	416	2,295	908
	計	22,566	21,082	20,701
合計		12.6	11.6	11.8

3 施策事業の取組

宇都宮市一般廃棄物処理基本計画では、3つの基本指標の達成を目指すため、3つの基本方針のもと、7つの基本施策と23の施策事業を展開しており、その実現に向けて令和3年度は以下のような取組を実施する。

また、廃棄物の新たな課題に対応するため、資源循環プロジェクトを新たに設定し、「プロジェクト1 食品ロス削減の推進」、「プロジェクト2 プラスチック・スマートプロジェクト（海洋プラスチックごみ対策の推進）」を掲げており、これらの施策について重点的に取組を推進する。



(1) ≪基本方針1≫発生抑制・再使用の促進

ア【基本施策1-1】普及啓発の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の ダウンロード数(件)	26,463	51,000

○取組内容

施策事業	取組内容																	
1 もったいない運動との連携	<p>【取組方針】 もったいない運動の趣旨を取り入れた講座やイベント等を通じた、「もったいない」のこころ醸成のための普及啓発を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・もったいない運動と連携した、3Rに係る環境出前講座の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・イベントにおける周知啓発</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・もったいない運動と連携した、3Rに係る環境出前講座の実施			・イベントにおける周知啓発								
取組内容	Project																	
	1	2																
・もったいない運動と連携した、3Rに係る環境出前講座の実施																		
・イベントにおける周知啓発																		
2 分別強化推進	<p>【取組方針】 様々な機会や場、媒体を活用し、ターゲットを捉えた発生抑制・資源化の取組の効果的な周知啓発を行い、更なる分別協力度や分別精度の向上を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スーパー店頭等や、イベントにおける周知啓発の実施</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・広報、ホームページ、分別アプリ等における情報の発信</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・分別チラシ、分別アプリの多言語対応の拡充による周知啓発の強化</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・AI自動応答サービス「教えてミヤリー」の導入</td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・スーパー店頭等や、イベントにおける周知啓発の実施		●	・広報、ホームページ、分別アプリ等における情報の発信		●	・分別チラシ、分別アプリの多言語対応の拡充による周知啓発の強化		●	・AI自動応答サービス「教えてミヤリー」の導入		●
取組内容	Project																	
	1	2																
・スーパー店頭等や、イベントにおける周知啓発の実施		●																
・広報、ホームページ、分別アプリ等における情報の発信		●																
・分別チラシ、分別アプリの多言語対応の拡充による周知啓発の強化		●																
・AI自動応答サービス「教えてミヤリー」の導入		●																

<p>3 環境教育の推進</p>	<p>【取組方針】 3Rの重要性について理解を深め、環境配慮行動を実践できる人づくりを行うため、社会科補助教材の効果的な活用や、年齢層や市民のニーズに応じた出前講座・施設見学会などを開催し、様々な世代を対象とした環境教育の充実を図る。</p> <table border="1" data-bbox="608 499 1369 725"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・小学校4年生を対象とした社会科補助教材の作成・配布</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・年齢層や市民のニーズに応じた環境出前講座の開催</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・小学校4年生を対象とした社会科補助教材の作成・配布			・年齢層や市民のニーズに応じた環境出前講座の開催	●	●						
取組内容	Project																	
	1	2																
・小学校4年生を対象とした社会科補助教材の作成・配布																		
・年齢層や市民のニーズに応じた環境出前講座の開催	●	●																
<p>4 家庭系生ごみの減量化の推進</p>	<p>【取組方針】 排出段階において水切りの徹底を励行するとともに、家庭用生ごみ処理機の利用拡大と継続利用を推進する。</p> <table border="1" data-bbox="608 902 1369 1128"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自治会等における分別講習会や各種イベントなどにおける周知啓発の継続</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・家庭用生ごみ処理機の利用拡大と継続利用に向けた情報の発信</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・自治会等における分別講習会や各種イベントなどにおける周知啓発の継続	●		・家庭用生ごみ処理機の利用拡大と継続利用に向けた情報の発信	●							
取組内容	Project																	
	1	2																
・自治会等における分別講習会や各種イベントなどにおける周知啓発の継続	●																	
・家庭用生ごみ処理機の利用拡大と継続利用に向けた情報の発信	●																	
<p>5 きれいなまちづくりの推進</p>	<p>【取組方針】 「宇都宮市みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例」に基づく巡回指導に加え、あらゆる機会を活用して、ごみのポイ捨て防止等を周知啓発し、市民が快適に暮らすことができる「きれいなまち宇都宮」を実現する。</p> <table border="1" data-bbox="608 1391 1369 1883"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・条例指導員による美化推進重点地区内の巡回指導</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・美化推進重点地区における警察及び商業施設・地元商店街等と連携した定期的な夜間巡回指導</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・路面標示や看板、大型映像装置、イベント、自治会回覧や広報紙、情報技術媒体(アプリ)、ホームページ等を活用した条例の周知啓発</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・関係機関等と連携した管理不全な土地、建物の適正管理指導</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・条例指導員による美化推進重点地区内の巡回指導			・美化推進重点地区における警察及び商業施設・地元商店街等と連携した定期的な夜間巡回指導			・路面標示や看板、大型映像装置、イベント、自治会回覧や広報紙、情報技術媒体(アプリ)、ホームページ等を活用した条例の周知啓発		●	・関係機関等と連携した管理不全な土地、建物の適正管理指導		
取組内容	Project																	
	1	2																
・条例指導員による美化推進重点地区内の巡回指導																		
・美化推進重点地区における警察及び商業施設・地元商店街等と連携した定期的な夜間巡回指導																		
・路面標示や看板、大型映像装置、イベント、自治会回覧や広報紙、情報技術媒体(アプリ)、ホームページ等を活用した条例の周知啓発		●																
・関係機関等と連携した管理不全な土地、建物の適正管理指導																		

イ【基本施策 1-2】発生抑制の促進

○取組指標 (食品ロス削減推進計画指標)

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
市が実施したフードドライブの 参加者数(人)	121	400

○取組内容

施策事業	取組方針・内容																				
6 食品ロス削減の推進	<p>【取組方針】 講習会等を通じた市民への意識啓発により、まだ食べられるのに廃棄される食品ロスを削減するため、市民一人ひとりの意識・行動変革に向けた周知啓発の強化や、外食・小売等の各事業者との連携による食べ切り・使い切りを推進する。 また、様々な機会を活用し、フードドライブの取組を市民へ周知啓発するとともに、フードドライブを活用し、食品ロスの発生抑制を推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・本庁舎におけるフードドライブの通年実施</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・自治会等における分別講習会や各種イベントによる食品ロス削減に係る周知啓発</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市ホームページ、自治会回覧、広報、ごみ分別アプリ等を活用した「もったいない残しま10！」運動や「フードドライブ」等の周知啓発</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・「もったいない残しま10！運動」協力店の登録促進</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時の、事業者への食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用の周知啓発</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・本庁舎におけるフードドライブの通年実施	●		・自治会等における分別講習会や各種イベントによる食品ロス削減に係る周知啓発	●		・市ホームページ、自治会回覧、広報、ごみ分別アプリ等を活用した「もったいない残しま10！」運動や「フードドライブ」等の周知啓発	●		・「もったいない残しま10！運動」協力店の登録促進	●		・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時の、事業者への食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用の周知啓発	●	
	取組内容		Project																		
		1	2																		
	・本庁舎におけるフードドライブの通年実施	●																			
	・自治会等における分別講習会や各種イベントによる食品ロス削減に係る周知啓発	●																			
	・市ホームページ、自治会回覧、広報、ごみ分別アプリ等を活用した「もったいない残しま10！」運動や「フードドライブ」等の周知啓発	●																			
・「もったいない残しま10！運動」協力店の登録促進	●																				
・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時の、事業者への食品ロス発生抑制や食品廃棄物の再生利用の周知啓発	●																				
7 家庭ごみ有料化の調査・研究	<p>【取組方針】 ごみの減量化・資源化の推進や、排出量に応じた費用負担の公平性確保などの観点を踏まえ、検討する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・本市における施策としての有効性を検証するための調査研究の継続</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・本市における施策としての有効性を検証するための調査研究の継続														
	取組内容		Project																		
1		2																			
・本市における施策としての有効性を検証するための調査研究の継続																					

8 プラスチックごみの発生抑制の推進	<p>【取組方針】 海洋プラスチックごみの削減に向け、ICT等を活用した効果的な周知啓発により、マイバッグやマイボトルの利用促進など代替可能なプラスチックの使用削減や、レジ袋の削減を図るため、「もったいないレジ袋削減運動」を市民・事業者・行政が一体となって推進する。また、事業者と連携した過剰包装の抑制や、詰替商品の利用促進などにより、容器包装廃棄物等の減量化を図る。</p>																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">取組内容</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">Project</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「もったいないレジ袋削減運動」の周知啓発</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・事業者と連携した過剰包装の抑制や詰め替え商品の利用促進の強化</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・各種媒体を通じた簡易包装の推進に係る周知啓発</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・事業者と連携した生産・流通過程におけるプラスチックごみ削減に向けた周知啓発</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・“プラスチックとの上手なつきあい方”に関する意識醸成、行動変容を目的とした市職員向け行動方針の運用</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・プラスチック製品の効果的・効率的な資源化手法についての調査研究</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時における、事業者へのプラスチックごみ発生抑制の周知啓発</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> <tr> <td>・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究</td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・「もったいないレジ袋削減運動」の周知啓発		●	・事業者と連携した過剰包装の抑制や詰め替え商品の利用促進の強化		●	・各種媒体を通じた簡易包装の推進に係る周知啓発		●	・事業者と連携した生産・流通過程におけるプラスチックごみ削減に向けた周知啓発		●	・“プラスチックとの上手なつきあい方”に関する意識醸成、行動変容を目的とした市職員向け行動方針の運用		●	・プラスチック製品の効果的・効率的な資源化手法についての調査研究		●	・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時における、事業者へのプラスチックごみ発生抑制の周知啓発		●	・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究		●
	取組内容		Project																											
		1	2																											
	・「もったいないレジ袋削減運動」の周知啓発		●																											
	・事業者と連携した過剰包装の抑制や詰め替え商品の利用促進の強化		●																											
	・各種媒体を通じた簡易包装の推進に係る周知啓発		●																											
	・事業者と連携した生産・流通過程におけるプラスチックごみ削減に向けた周知啓発		●																											
	・“プラスチックとの上手なつきあい方”に関する意識醸成、行動変容を目的とした市職員向け行動方針の運用		●																											
	・プラスチック製品の効果的・効率的な資源化手法についての調査研究		●																											
・ごみの適正処理に関する戸別訪問指導時における、事業者へのプラスチックごみ発生抑制の周知啓発		●																												
・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究		●																												

ウ【基本施策 1－3】再使用の促進

○取組内容

施策事業	取組方針・内容											
9 リユース品の利用促進	<p>【取組方針】 リユース品の利用を促進するため、市内における流通状況等を把握し、新たなリユースの可能性や利用促進に向けた方策等を検討する。</p>											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">取組内容</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">Project</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">1</th> <th style="text-align: center;">2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・リーフレットの配布やホームページの活用によるリユースショップの紹介や利用方法等に関する情報提供</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・関係課・団体との連携による市民の主体的なリユースの取組の促進</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・リーフレットの配布やホームページの活用によるリユースショップの紹介や利用方法等に関する情報提供			・関係課・団体との連携による市民の主体的なリユースの取組の促進		
	取組内容		Project									
1		2										
・リーフレットの配布やホームページの活用によるリユースショップの紹介や利用方法等に関する情報提供												
・関係課・団体との連携による市民の主体的なリユースの取組の促進												

10 粗大ごみの再生品販売	【取組方針】 利活用が可能な粗大ごみについて、修繕等を行い再生品として販売することで、リユースを推進する。また、新たな回収方法など、リユースの拡大についても検討する。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・再生品販売を通じた「もったいない」こころの醸成や、リユースの推進に向けた周知啓発の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・再生品販売を通じた「もったいない」こころの醸成や、リユースの推進に向けた周知啓発の実施		
	取組内容		Project						
1		2							
・再生品販売を通じた「もったいない」こころの醸成や、リユースの推進に向けた周知啓発の実施									

(2) ≪基本方針2≫資源循環利用の推進

ア【基本施策2-1】資源循環利用の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
市が主体となって取り組む 廃棄物系バイオマスの資源化量(t)※	514	1,500

※剪定枝拠点回収量+公共施設から排出される剪定枝資源化量+廃食用油拠点回収量

○取組内容

施策事業	取組方針・内容																				
11 拠点回収事業による資源化の推進	【取組方針】 清掃工場に持ち込まれた剪定枝を拠点回収し、事業者との連携によりチップ化することで、更なる資源化の拡大を図るとともに、市民配布などによる循環利用を促進する。また、家庭から排出される不用になった食用油、小型家電、インクカートリッジを拠点回収することで、焼却ごみの減量化、資源化を図る。																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スーパーや市有施設における廃食用油の拠点回収の推進</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市有施設における使用済小型家電、インクカートリッジの拠点回収の推進</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・剪定枝の拠点回収による資源化の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市民のリサイクル意識の醸成に向けた拠点回収事業の周知啓発</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・資源化事業者等との連携による効果的・効率的な資源化の推進</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・スーパーや市有施設における廃食用油の拠点回収の推進			・市有施設における使用済小型家電、インクカートリッジの拠点回収の推進		●	・剪定枝の拠点回収による資源化の実施			・市民のリサイクル意識の醸成に向けた拠点回収事業の周知啓発			・資源化事業者等との連携による効果的・効率的な資源化の推進		
	取組内容		Project																		
		1	2																		
	・スーパーや市有施設における廃食用油の拠点回収の推進																				
	・市有施設における使用済小型家電、インクカートリッジの拠点回収の推進		●																		
	・剪定枝の拠点回収による資源化の実施																				
・市民のリサイクル意識の醸成に向けた拠点回収事業の周知啓発																					
・資源化事業者等との連携による効果的・効率的な資源化の推進																					

<p>12 公共施設における資源化の推進</p>	<p>【取組方針】 市有施設から発生する剪定枝などの資源化を図るとともに、更なる資源化を推進するため、清掃工場におけるバイオマス発電等の熱エネルギーの有効活用を図る。</p> <table border="1" data-bbox="608 465 1353 987"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・清掃工場における熱エネルギーの有効利用（ごみ発電）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市有地から発生する剪定枝の資源化の推進</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市関連施設から排出される生ごみの費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの調査研究</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・清掃工場における熱エネルギーの有効利用（ごみ発電）			・市有地から発生する剪定枝の資源化の推進			・市関連施設から排出される生ごみの費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの調査研究			・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究		
取組内容	Project																	
	1	2																
・清掃工場における熱エネルギーの有効利用（ごみ発電）																		
・市有地から発生する剪定枝の資源化の推進																		
・市関連施設から排出される生ごみの費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの調査研究																		
・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究																		
<p>13 新たな資源循環利用の推進</p>	<p>【取組方針】 品目の特性に応じた資源化の可能性について、民間施設を活用するなど、新たな資源循環利用に向けた検討を行う。</p> <table border="1" data-bbox="608 1196 1353 1574"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・焼却ごみに含まれる資源化可能品目の割合等を把握するための組成分析調査の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・焼却ごみに含まれる資源化可能品目の割合等を把握するための組成分析調査の実施			・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究								
取組内容	Project																	
	1	2																
・焼却ごみに含まれる資源化可能品目の割合等を把握するための組成分析調査の実施																		
・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等を踏まえ、資源化事業者等との連携による安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究																		

イ【基本施策 2-2】市民・事業者主体による資源化の促進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
市民から依頼のあった 分別講習会と出前講座の開催回数(回)	67	70以上

○取組内容

施策事業	取組方針・内容														
14 リサイクル推進員活動支援の推進	<p>【取組方針】 研修会の開催や情報紙「みやくるりん」の発行等の事業を通して、地域のごみ問題や環境美化の中心的な役割を担うリサイクル推進員の活動を支援する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・リサイクル推進員を対象とした研修会の開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・情報紙「みやくるりん」の発行の継続</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・リサイクル推進員を対象とした研修会の開催			・情報紙「みやくるりん」の発行の継続					
取組内容	Project														
	1	2													
・リサイクル推進員を対象とした研修会の開催															
・情報紙「みやくるりん」の発行の継続															
15 エコショップ等の普及促進	<p>【取組方針】 3R活動に積極的に取り組む小売店、飲食店を「宇都宮市エコショップ」、「宇都宮市エコレストラン」として認定し、事業系ごみの減量化・資源化を図るとともに、ホームページ等を通じて取組を紹介することで、市民や事業者の3R行動の実践と定着を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・市ホームページ等を通じた「宇都宮市エコショップ」、「宇都宮市エコレストラン」認定店における3R活動の取組紹介</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・認定店との連携による市民や事業者の3R活動の推進</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・市ホームページ等を通じた「宇都宮市エコショップ」、「宇都宮市エコレストラン」認定店における3R活動の取組紹介	●	●	・認定店との連携による市民や事業者の3R活動の推進	●	●	・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究	●	●
取組内容	Project														
	1	2													
・市ホームページ等を通じた「宇都宮市エコショップ」、「宇都宮市エコレストラン」認定店における3R活動の取組紹介	●	●													
・認定店との連携による市民や事業者の3R活動の推進	●	●													
・ICTを活用した効果的な周知手法の調査研究	●	●													
16 資源物集団回収の推進	<p>【取組方針】 地域における資源物集団回収を通して地域コミュニティの活性化を図りながら、ごみの減量化・資源化を推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・実施団体に対する報償金の交付</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・事業の活性化に向けた効果的・効率的な集団回収の仕組みの検討</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・実施団体に対する報償金の交付			・事業の活性化に向けた効果的・効率的な集団回収の仕組みの検討					
取組内容	Project														
	1	2													
・実施団体に対する報償金の交付															
・事業の活性化に向けた効果的・効率的な集団回収の仕組みの検討															

17 事業系ごみの減量化 資源化の促進	【取組方針】 生ごみや剪定枝などの、民間の資源化施設を活用した資源化への誘導や、生ごみの減量化に向けた事業者への支援に係る検討など、事業系ごみの減量化・資源化を促進する。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・事業者の主体的な資源化の取組を促進するための費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等に照らした安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・事業系生ごみ処理機導入費補助制度についての調査研究</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・事業者の主体的な資源化の取組を促進するための費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの検討			・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等に照らした安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究			・事業系生ごみ処理機導入費補助制度についての調査研究	●	
	取組内容		Project												
		1	2												
・事業者の主体的な資源化の取組を促進するための費用対効果を踏まえた効果的・効率的な資源化ルートの検討															
・リサイクル技術の最新動向や他の自治体の導入実績等に照らした安定的かつ効果的・効率的な資源化手法に関する調査研究															
・事業系生ごみ処理機導入費補助制度についての調査研究	●														

(3) <<基本方針3>>適正な処理の推進

ア【基本方針3-1】適正な収集・処分体制の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
行政収集及び工場への搬入予定日数に対して、安定的かつ適正に行政収集及び受入れを行った日数の割合(%)	100	100

○取組内容

施策事業	取組方針・内容														
18 ごみステーションの 維持管理への支援	【取組方針】 自治会や集合住宅管理者等と連携しながら、ごみステーションの適正な維持管理が行われるよう支援する。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ごみ排出に関する質問や苦情への迅速な対応及び適正排出指導の継続</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・自治会や集合住宅管理者等との連携によるごみステーションの適正な維持管理や美化への支援をGIS(地理情報システム)を活用して実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・GISを利用したごみステーション情報の管理</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・ごみ排出に関する質問や苦情への迅速な対応及び適正排出指導の継続			・自治会や集合住宅管理者等との連携によるごみステーションの適正な維持管理や美化への支援をGIS(地理情報システム)を活用して実施			・GISを利用したごみステーション情報の管理		
	取組内容		Project												
		1	2												
・ごみ排出に関する質問や苦情への迅速な対応及び適正排出指導の継続															
・自治会や集合住宅管理者等との連携によるごみステーションの適正な維持管理や美化への支援をGIS(地理情報システム)を活用して実施															
・GISを利用したごみステーション情報の管理															

<p>19 適正かつ効果的・効率的な収集運搬体制の確保</p>	<p>【取組方針】 作業効率や安全性等を考慮した適正な収集運搬体制を確保する。また、人口や社会情勢の変化、3Rの取組の進展や資源化技術の向上等を考慮しながら、安定した収集運搬体制を確保する。</p> <table border="1" data-bbox="584 461 1345 880"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・委託業者への研修会の実施などを通じた、作業効率や安全性、衛生面等を考慮した適正な収集運搬体制の継続</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・ごみ収集運搬業務委託の更新に向けた、効果的・効率的な収集運搬体制の検討</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・「ふれあい収集事業」の適切な実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・今後の社会環境の変化やごみの排出実態に対応した効果的・効率的なごみの収集運搬のあり方についての検討</td> <td></td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・委託業者への研修会の実施などを通じた、作業効率や安全性、衛生面等を考慮した適正な収集運搬体制の継続		●	・ごみ収集運搬業務委託の更新に向けた、効果的・効率的な収集運搬体制の検討			・「ふれあい収集事業」の適切な実施			・今後の社会環境の変化やごみの排出実態に対応した効果的・効率的なごみの収集運搬のあり方についての検討		●			
取組内容	Project																				
	1	2																			
・委託業者への研修会の実施などを通じた、作業効率や安全性、衛生面等を考慮した適正な収集運搬体制の継続		●																			
・ごみ収集運搬業務委託の更新に向けた、効果的・効率的な収集運搬体制の検討																					
・「ふれあい収集事業」の適切な実施																					
・今後の社会環境の変化やごみの排出実態に対応した効果的・効率的なごみの収集運搬のあり方についての検討		●																			
<p>20 適正な中間処理施設・最終処分場の維持管理</p>	<p>【取組方針】 ごみ処理・埋立処分を安定的に行うため、関係法令等を遵守し、適切に維持管理・整備を行う。</p> <table border="1" data-bbox="584 1055 1345 1328"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・各中間処理施設の各種機器類の点検、整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・環境等にかかる各種基準の遵守</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・最終処分場における適正な管理・運営の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市ホームページ等における施設の情報公開</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・施設見学者、施設利用者の受入れ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・各中間処理施設の各種機器類の点検、整備			・環境等にかかる各種基準の遵守			・最終処分場における適正な管理・運営の実施			・市ホームページ等における施設の情報公開			・施設見学者、施設利用者の受入れ		
取組内容	Project																				
	1	2																			
・各中間処理施設の各種機器類の点検、整備																					
・環境等にかかる各種基準の遵守																					
・最終処分場における適正な管理・運営の実施																					
・市ホームページ等における施設の情報公開																					
・施設見学者、施設利用者の受入れ																					
<p>21 災害廃棄物の適正処理に向けた対応</p>	<p>【取組方針】 災害廃棄物に対応するため、一時保管場所の確保や事業者との協力体制の構築など、収集から処分まで一貫した体制の一層の整備を行う。</p> <table border="1" data-bbox="584 1559 1345 1785"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「災害廃棄物処理対応マニュアル」に基づく訓練等の実施及び実効性の検証</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・検証を踏まえたマニュアルの修正及び更なる実効性確保に向けた体制整備</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・「災害廃棄物処理対応マニュアル」に基づく訓練等の実施及び実効性の検証			・検証を踏まえたマニュアルの修正及び更なる実効性確保に向けた体制整備											
取組内容	Project																				
	1	2																			
・「災害廃棄物処理対応マニュアル」に基づく訓練等の実施及び実効性の検証																					
・検証を踏まえたマニュアルの修正及び更なる実効性確保に向けた体制整備																					

イ【基本方針3-2】適正処理の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
事業所への戸別訪問指導の 実施率(%)	100	100

○取組内容

施策事業	取組方針・内容																				
22 事業系ごみの適正処理の推進	<p>【取組方針】 多量排出事業者を対象として、戸別訪問指導を計画的に実施するとともに、清掃工場に搬入されたごみを展開調査して不適正ごみの搬入防止を図るなど、事業系ごみの適正処理を推進する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・大規模事業所に対する減量等計画書の提出及び更なる適正処理に向けた分別指導</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・中規模事業所への戸別訪問指導</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>・搬入ごみの展開調査</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・展開調査結果に基づく不適正排出事業所への戸別訪問指導</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・廃棄物管理責任者研修会や産業廃棄物多量排出者等向け講習会等の開催による事業系ごみの適正処理に向けた周知啓発、情報の提供</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・大規模事業所に対する減量等計画書の提出及び更なる適正処理に向けた分別指導	●	●	・中規模事業所への戸別訪問指導	●	●	・搬入ごみの展開調査			・展開調査結果に基づく不適正排出事業所への戸別訪問指導			・廃棄物管理責任者研修会や産業廃棄物多量排出者等向け講習会等の開催による事業系ごみの適正処理に向けた周知啓発、情報の提供		
	取組内容		Project																		
		1	2																		
	・大規模事業所に対する減量等計画書の提出及び更なる適正処理に向けた分別指導	●	●																		
	・中規模事業所への戸別訪問指導	●	●																		
	・搬入ごみの展開調査																				
・展開調査結果に基づく不適正排出事業所への戸別訪問指導																					
・廃棄物管理責任者研修会や産業廃棄物多量排出者等向け講習会等の開催による事業系ごみの適正処理に向けた周知啓発、情報の提供																					
23 不法投棄の未然防止、拡大防止の推進	<p>【取組方針】 「第3次宇都宮市不法投棄未然防止推進計画」に基づき、総合的に施策・事業を進め、地域の良い環境保全を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">取組内容</th> <th colspan="2">Project</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自治会回覧や広報紙、ホームページ等による適正処理の啓発</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・監視パトロールによる巡回監視、監視カメラによる定点監視</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・地域住民が実施する監視活動、清掃活動への支援</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取組内容	Project		1	2	・自治会回覧や広報紙、ホームページ等による適正処理の啓発			・監視パトロールによる巡回監視、監視カメラによる定点監視			・地域住民が実施する監視活動、清掃活動への支援								
	取組内容		Project																		
		1	2																		
	・自治会回覧や広報紙、ホームページ等による適正処理の啓発																				
・監視パトロールによる巡回監視、監視カメラによる定点監視																					
・地域住民が実施する監視活動、清掃活動への支援																					

4 収集運搬・中間処理・最終処分体制

(1) 収集運搬体制

家庭ごみについては、市の業務委託による収集運搬を基本とし、事業者から排出される一般廃棄物や市の業務委託で対応できない家庭からのごみについては、排出者による自己搬入や排出者から許可業者への委託による収集運搬とする。

ア 収集運搬等

(ア) 家庭系ごみ

本市の分別収集区分の5種13分別に基づき、次の体制で行う。

ごみ・資源物の種類	収集運搬			
	回数	排出方法	収集方法	
焼却ごみ	週2回	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみは、よく水を切る。 紙おむつの汚物は取り除く。 	ステーション方式	
不燃ごみ	週1回	<ul style="list-style-type: none"> 中身が入っている塗料缶などは、空にする。 傘などの棒状のもの(1mまで)はひもで束ねる。 電池・電球等は取り外して危険ごみに出す。 		
危険ごみ	週1回	<ul style="list-style-type: none"> 蛍光灯や電球は割れないようにする。 ライターやスプレー缶は、ガスがなくなるまで使い切る。またスプレー缶は、風通しの良い屋外などで穴をあける。 刃物類の刃の部分は、紙やぼろ布で包む。 		
粗大ごみ	随時	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車等で、直接清掃工場に搬入する。 戸別有料収集(1点840円, 1回5点まで)は、粗大ゴミ受付センターに事前予約し、指定された収集日の午前8時30分までに指定場所に置く。 	戸別方式(有料)	
資源物	新聞	週1回	<ul style="list-style-type: none"> ひもで十文字にしぼる。 	ステーション方式
	ダンボール		<ul style="list-style-type: none"> 粘着テープなどの異物を取り除き、たたんで一枚でもひもで十文字にしぼる。 	
	雑誌, その他の紙		<ul style="list-style-type: none"> ひもで十文字にしぼる。(雑誌) 異物を取り除き、紙袋に入れてから、ひもで十文字にしぼるか、透明又は半透明のポリ袋に入れる。(その他の紙) 	
	紙パック		<ul style="list-style-type: none"> 水洗いし、切り開き、乾燥させてから、ひもで十文字にしぼるか、透明又は半透明のポリ袋に入れる。 	
	布類		<ul style="list-style-type: none"> 洗って、乾燥させる。 雨の日は排出しない。 	
	びん缶類		<ul style="list-style-type: none"> キャップを取り除き、水洗いする(割れたびんも可)。 	
	ペットボトル		<ul style="list-style-type: none"> キャップ、ラベルをはずしてすすぐ。(キャップ、ラベルはプラスチック製容器包装) 	
	白色トレイ		<ul style="list-style-type: none"> 水洗いし、乾燥させる。 	
	プラスチック製容器包装		<ul style="list-style-type: none"> 中身を完全に使い切り、汚れを取り除く。 ボトルなどのキャップやポンプは外して一緒に出す。 	

拠点回収等			
廃食用油	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の回収ボックスに入れる。 ・ 使用済油は軽くこしてから、ペットボトルなどキャップのある容器に入れる。 ・ 未開封の油は、そのまま封を開けない。 	拠点回収
使用済小型家電	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の回収ボックスに入れる。(幅 50cm×高さ 15cm×奥行 30cm 未満) ・ 個人情報を含むデータは、削除する ・ 電池・電球等は取り外して危険ごみに出す。 	拠点回収, ピックアップ回収
インクカートリッジ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所定の回収ボックスに入れる。 	拠点回収
剪定枝	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太さ 10cm, 長さ 2.5m以内 	拠点回収
その他			
動物死体	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丈夫な袋又はダンボール箱に入れる。 	戸別方式, 自己搬入 (有料)

(イ) 事業系ごみ

事業活動に伴って排出される事業系一般廃棄物については、排出者による自己搬入や許可業者への委託による収集運搬とする。

なお、2020（令和2）年12月末現在の収集運搬業許可業者数は、166者である。

イ ごみステーション

ごみステーションは、ごみの収集作業を安全かつ効率的に行うために設置しており、利用する住民が共同して清潔かつ適正に管理し、市は自治会や集合住宅管理者等と連携しながら、適正な維持管理が行われるよう支援する。

なお、2020（令和2）年12月末現在のごみステーションの設置数は、16,994か所である。

ウ ふれあい収集事業

ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者に対し、戸別訪問によるごみ収集を実施する。

なお、2020（令和2）年12月末現在の収集対象世帯数は、459世帯である。

エ ごみの適正排出の徹底

ごみステーションを利用する場合は、ごみ種別ごとに分別し、決められた曜日に午前7時又は8時30分（一部地区を除く。）までに排出する。排出者及び許可業者が、市の処理施設に搬入する場合は、ごみ種別ごとの排出方法に準じて搬入する。

「焼却ごみ」、「不燃ごみ」、「危険ごみ」、「布類」、「びん・缶類」、「ペットボトル」、「白色トレイ」、プラスチック製容器包装」は、透明又は半透明のポリ袋に入れる。

オ 収集しないごみと処理方法

特定家庭用機器再商品化法に基づき再生利用等が義務付けられている、エアコン、テレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機については、資源化を進めていくため、違法業者による回収や不法投棄の抑制、啓発や処理方法の周知等を行う。

区分	例示	処理方法
家電リサイクル法対象製品	テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）に基づき、製造業者等が引き取る。
指定再資源化製品	ニカド電池、ボタン電池	資源有効利用促進法に基づき、製造業者等が引き取る。
粉塵爆発の恐れがあるもの	大量の粉状のもの（小麦粉など）	処理可能な許可業者へ委託するなど、適正に処理する。
感染性のあるもの	注射針、血液が付着したガーゼ等（家庭から排出される医療行為に伴う廃棄物で感染のおそれがあるもの）	感染性廃棄物処理マニュアルに従い、医療機関等を通じて専門処理業者へ依頼する。
有害性のあるもの	農薬、薬品類	販売店による引き取り、処理可能な許可業者へ委託するなど、適正に処理する。
危険性のあるもの	プロパンガス・酸素ボンベ、バッテリー、消火器、火薬	
引火性のあるもの	溶剤、塗料、ガソリンや灯油等の揮発性の液体	
悪臭を発するもの	汚物、汚泥	
上記のほか、市が処理を行うことが困難であるもの、又は処理施設の機能に支障を生じるもの	自動車用タイヤ、スプリング入りマットレス・ソファ、ピアノ、畳、建築廃材、組立式物置、流し台、洗面台、ボイラー、浴槽、温水器、浄化槽、便器、ドラム缶、コンクリート片、耐火金庫、瓦、オートバイ（部品含む）、自動車（部品含む）等	

カ 資源物持ち去りの防止対策

次の取組により，資源物持ち去りの防止に努める。

- ・ 監視パトロールの実施
- ・ 常習者に対する警告，禁止命令，告発

キ ごみの持ち込み先

分別種類 持ち込み 施設	家庭系ごみ						事業系ごみ		
	ごみ			資源物			粗大 ごみ (焼却・危険・不燃・ 紙類)	布類 紙類 (紙パックも含む)・	白色 トレイ プラスチック製容器包装・
	焼却 ごみ	危険・不燃 ごみ	粗大 ごみ	びん・缶 類 ペットボ トル・	白色 トレイ プラスチック製 容器包装・	紙類 (紙パ ックも 含む)・			
クリーンパーク 茂原	○	○	▲	○	▲	×	▲	×	×
クリーンセンター 下田原	○	▲	▲	▲	▲	×	▲	×	×
(株)エスケーシー	×	×	×	×	×	○	×	○	×
エコプラセンター 下荒針	×	×	×	×	○	×	×	×	○

【凡例】○：持ち込み可能

▲：持ち込み可能（数量，種類に制限あり）

×：持ち込み不可

ク 不法投棄ごみ

(ア) 処理の方法

公共用地等において発生した不法投棄物を調査し，投棄者が特定できない場合には，拡大防止のため，市が速やかに回収し処分する。

(イ) 処理量

処理量の2021（令和3）年度見込は，約90t/年である。

(2) 中間処理体制

ア 中間処理体制

区 分		処 理 方 法	処理主体	上三川町 旧石橋町区域	
焼	却 ご み	安定化、減容化及び熱回収のため焼却	直 営	○	
不	燃 ご み	破碎後、資源化のため金属類の選別	直 営	○	
危 険 ご み	蛍 光 灯	切断等	直 営	○	
	そ の 他	資源化のため金属類選別	直 営	○	
粗 大 ご み	可 燃 性	破碎後、減容化及び熱回収のため焼却	直 営	○	
	不 燃 性	破碎後、資源化のため金属類を選別	直 営	○	
	紙 布 類	資源化のため選別、圧縮、梱包	委 託	×	
	紙 パ ッ ク		直 営	○ (上三川町のみ)	
	び ん 缶 類				
	ペ ッ ト ボ ト ル				
	プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装 ・ 白 色 ト レ イ				
	廃 食 用 油		資源化のため選別、ろ過	民 間	×
	使 用 済 小 型 家 電		破碎後、資源化のため金属類の選別	民 間	×
	剪 定 枝		資源化のため破碎	委 託	○
胞 衣 汚 物	斎場において焼却	直 営	×		
動 物 の 死 体	焼却	委 託	×		

イ 焼却処理

(ア) 焼却施設の概要

名 称	クリーンセンター下田原	クリーンパーク茂原
所 在 地	下田原町3435番地	茂原町777番地1
焼 却 炉 の 種 類	全連続燃焼式	全連続燃焼式
処 理 能 力	95t×2 炉=190t/日	130t×3 炉=390t/日

(イ) 焼却処理量 (2021 (令和3) 年度計画値)

(単位: t/年)

区分	処理量			
	宇都宮市	上三川町 ^{※1} 旧石橋町区域	選別可燃残渣	合計
焼却ごみ等	141,700	13,200	2,800	157,700
焼却減容量				139,380
焼却残渣量				16,300
溶融スラグ量 ^{※2}				1,740
資源物				280

※1 上三川町、旧石橋町区域の焼却ごみはクリーンパーク茂原において処理

※2 溶融スラグの量には、エコスラグとして資源化するものを含む。

ウ 資源物 (びん缶類・ペットボトル)・不燃ごみ等の処理

(ア) 資源化施設の概要

名 称	リサイクルプラザ
事業主体	宇都宮市
所在地	宇都宮市茂原町777番地1
仕 様	選別方法: 機械選別+手選別
処理能力	135 t/5 h

(イ) 資源化処理量 (2021 (令和3) 年度計画値)

区分	処理量		
	宇都宮市	上三川町 旧石橋町区域 [※]	合計
資源物 (びん・缶類)	6,200	300	6,500
資源物 (ペットボトル)	1,800	100	1,900
不燃ごみ・危険ごみ	3,300	200	3,500
不燃性粗大ごみ	1,600	100	1,700
合 計	12,900	700	13,600
資源化量			6,120
委託処理等量			150
焼却施設への排出量			2,320
不燃残渣量			5,010

※旧石橋町区域については家庭系ごみの直接搬入のみ

エ 資源物（白色トレイ・プラスチック製容器包装）の処理

（ア）資源化施設の概要

名 称	エコプラセンター下荒針
事業主体	宇都宮市
所在地	宇都宮市下荒針町2678番地176
仕 様	破袋，選別，圧縮梱包
処理能力	36t／6h

（イ）資源化処理量（2021（令和3）年度計画値）

区分	処理量		
	宇都宮市	上三川町	合計
白 色 ト レ イ	6	1	7
プラスチック製容器包装	3,174	259	3,433
合 計	3,180	260	3,440
資 源 化 量			2,970
焼却施設への搬出量			470

オ 資源物（廃食用油）の処理

（ア）資源化施設の概要

名 称	廃食用油資源化施設
事業主体	宇都宮市
所在地	宇都宮市屋板町330番地
仕 様	選別，ろ過

（イ）資源化処理量（2021（令和3）年度計画値）

廃食用油の回収量の2021（令和3）年度見込は，39,600t／年である。

カ 資源物（紙布類・紙パック）の処理

（ア）資源化処理の方法

民間事業者を選別，梱包を委託し，資源化を図る。

（イ）資源化処理量

処理量の2021（令和3）年度見込は9,370t／年である。

キ 資源物（剪定枝）の処理

（ア） 資源化処理の方法

家庭から排出された剪定枝について，民間事業者に破砕を委託し，資源化を図る。

（イ） 資源化処理量

処理量の 2021（令和 3）年度見込は 973t/年である。

ク 資源物（小型家電）の処理

（ア） 資源化処理の方法

民間事業者に売払い，資源化を図る。

（イ） 資源化処理量

処理量の 2021（令和 3）年度見込は 67t/年である。

（3）最終処分体制

ア 最終処分量（2021（令和 3）年度計画値）

（t/年）

区 分	処分量
焼 却 残 渣	17,230
不 燃 残 渣	5,010
そ の 他	560
合 計	22,800

イ 最終処分場の概要

名 称	エコパーク下横倉
所 在 地	宇都宮市下横倉町 5 3 2 番地
埋 立 面 積	約 2.6 h a
埋 立 容 量	約 290,000 m ³
計 画 期 間	2021（令和 2）年度～2035（令和 17）年度

第2章 生活排水処理実施計画

1 基本指標の目標値

生活処理基本計画では、各施策事業の取組効果を客観的かつ定量的に点検・評価するため、基本指標とその目標値を下記のとおり設定している。

【基本指標1】 生活排水処理人口普及率

「公共下水道・農業集落排水処理施設・地域下水処理施設の整備が完了し、使用可能な区域の人口」及び「合併処理浄化槽を使用している人口」の行政人口に占める割合であり、生活排水処理施設の整備状況を評価できる。

【基本指標2】 生活排水処理率

「公共下水道・農業集落排水処理施設・地域下水処理施設を使用している人口」及び「合併処理浄化槽を使用している人口」の行政人口に占める割合あり、生活排水処理施設への接続状況を評価できる。

【基本指標1】 生活排水処理人口普及率（％）

	基準値 (R1)	計画値 (R3)	計画値 (R4)	計画値 (R5)	計画値 (R6)	短期目標 (R7)
生活排水処理 人口普及率	98.7	99.4	99.7	99.8	99.9	100.0

【基本指標2】 生活排水処理率（％）

	基準値 (R1)	計画値 (R3)	計画値 (R4)	計画値 (R5)	計画値 (R6)	短期目標 (R7)
生活排水処理率	95.7	96.5	96.9	97.3	97.7	98.1

2 施策事業の取組

(1) ≪基本方針1≫生活排水処理施設整備の推進と効率的な運営管理

ア 【基本施策1-1】生活排水処理施設の整備推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
生活排水処理 人口普及率(%)	98.7	100.0

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
1 公共下水道の整備推進	<p>【取組方針】 公共下水道事業計画区域における令和7年度の管きょ整備の概成を目指すため、関連事業である土地区画整理事業との連携等により、未整備地区の計画的かつ効率的な整備を推進する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業地区、上河内地区、河内地区の計画的な整備の実施 ・土地区画整理事業や道路事業と情報を共有した効率的な整備の実施
2 合併処理浄化槽の整備推進	<p>【取組方針】 浄化槽整備区域において、単独処理浄化槽や汲み取りトイレからの転換を含む合併処理浄化槽の設置を促進するため、補助制度を継続するとともに、戸別訪問などの啓発活動の充実を図る。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽設置費補助制度の継続実施と周知啓発 ・様々な広報媒体を活用した合併処理浄化槽による生活排水の適正処理の重要性に関する啓発 ・未設置世帯の状況に応じた戸別訪問やリーフレットの活用などによる啓発 ・浄化槽法定検査の指定検査機関との情報共有や連携による啓発

イ 【基本施策 1-2】 生活排水処理施設への接続促進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
生活排水処理率(%)	95.7	98.1

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
3 生活排水処理施設への接続促進	<p>【取組方針】 公共用水域の水質保全に向け、公共下水道及び農業集落排水処理施設の未接続世帯に対する周知啓発及び戸別訪問により、接続促進に取り組む。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規整備地区を対象とした、戸別訪問時の工事前説明の徹底による、新たな未接続者の発生防止策の実施 ・未接続世帯を対象とする啓発文書の配付、未接続理由に応じた接続指導、未接続状態が長期化している世帯への重点化など、効果的な戸別訪問の実施 ・ハウスメーカーや指定工事店など、民間との協力体制による接続促進策の実施 ・接続工事資金の無利子融資あっせん制度の周知

ウ 【基本施策 1-3】 生活排水処理施設の適正管理

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
浄化槽法第11条 検査受検率(%)	72.1	87.3

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
4 生活排水処理施設の統廃合等の推進	<p>【取組方針】 経済性や老朽度を踏まえ、ライフサイクルコストの低減を図るため、生活排水処理施設の公共下水道への接続による統廃合を推進するとともに、設備の更新や修繕による長寿命化を推進する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道に接続する農業集落排水処理施設の管きよ修繕工事（止水対策）等の実施 ・改築・更新計画に基づく長寿命化工事の実施

5 合併処理浄化槽の適正管理の推進	<p>【取組方針】 市や保守点検業者などが保有する維持管理情報を一元化した浄化槽台帳を整備し、浄化槽法で定められている水質検査の受検率向上や、浄化槽の維持管理状況に応じた的確な指導に取り組む。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定検査の未受検者に対する受検促進通知の送付 ・浄化槽法定検査の指定検査機関と連携した維持管理の必要性に関する啓発策の実施 ・適正管理に向けた浄化槽台帳の整備
-------------------	---

(2) ≪基本方針2≫し尿・浄化槽汚泥等の適正な処理

ア 【基本施策2-1】安定した収集運搬の推進

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
6 安定した収集運搬の実施	<p>【取組方針】 収集運搬量の変動に対応しながら、し尿については全市業務委託、浄化槽汚泥については許可業者による、効果的で効率的な収集運搬を実施する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委託による安定したし尿収集運搬の実施 ・許可業者による効果的で効率的な浄化槽汚泥収集運搬の実施

イ 【基本施策2-2】安定した中間処理体制の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
し尿・浄化槽汚泥等 処理量 (kℓ/日)	115.8	73.2

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
7 安定した中間処理の実施	<p>【取組方針】 収集運搬したし尿・浄化槽汚泥の処理について、受入施設を適正に維持管理し、効果的で効率的な中間処理を実施する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川田水再生センターの受入施設や汚泥処理施設を適正に維持管理し、安定した中間処理を実施

ウ 【基本施策 2-3】 安定した最終処分の推進

○取組指標

	2019年度 (R1) 基準値・実績	2025年 (R7) 目標値
し渣焼却灰埋立量（t/年）	—	37.4

○取組内容

施策事業	取組方針・内容
8 安定した最終処分の実施	<p>【取組方針】 中間処理工程で発生したし渣焼却灰について、適正かつ安定した最終処分を実施する。</p> <p>【取組内容】 ・東横田清掃工場から発生する汚泥・し渣及び川田水再生センターの受入施設から発生するし渣について、クリーンパーク茂原で焼却処理後、エコパーク下横倉において埋立処分を実施</p>

3 収集運搬・中間処理・最終処分体制

(1) 収集運搬体制

快適な生活環境を確保するため、安全・確実に収集運搬を下表のとおり実施する。

ア 収集運搬量（2021（令和3）年度計画値）

（単位：kl/日）

区 分	収集運搬量
し 尿	17.3
浄化槽汚泥	92.1
合 計	109.4

イ 収集運搬体制

区 分	収集主体	収集区域	収集回収	収集方法
し尿	委託	市内全域	原則として 月1回	戸別収集
浄化槽汚泥	許可	市内全域	必要の都度	戸別収集

(2) 中間処理体制

ア 処理施設の処理量 (2021 (令和3) 年度計画値)

(単位: kl/日)

区 分	処 理 量
し 尿	17.3
浄 化 槽 汚 泥	92.1
合 計	109.4

イ 処理施設の概要

名 称	東横田清掃工場	
所 在 地	宇都宮市東横田町136番地	
施 設 名	低希釈二段活性汚泥処理施設	汚泥乾燥焼却施設
処 理 方 法	標準脱窒素処理方式	気流乾燥+ロータリーキルン
処 理 能 力	185kl/日	30t/7h

※令和3年9月に受入停止予定

名 称	川田水再生センター	
所 在 地	宇都宮市川田町240番地	
施 設 名	浄化槽汚泥等受入施設	
処 理 能 力	172.4kl/日	

ウ 中間処理施設の維持管理

東横田清掃工場の受入終了(令和3年9月予定)までは、川田水再生センターにおける下水汚泥との一体処理と並行して、東横田清掃工場における処理も継続して行う。

東横田清掃工場の受入終了後は、全量を川田水再生センターにおいて処理する。

(3) 最終処分体制

川田水再生センター及び東横田清掃工場から発生するし渣等については、クリーンパーク茂原で焼却処理後、エコパーク下横倉において埋立処分を行う。

埋立処分の対象となるし渣の2021(令和3)年度の見込は、55.9t/年である。